令和 2年度

事務事業評価表（　令和元年度　の実績評価）

記入年月日						
令和	2	年	3	月	25	日

事務事業名	主要地方道石岡筑西線整備促進期成同盟会参画事業	事業区分		担当	
		新規/継続	継続	事務事業№	050303000364
政策体系上の位置付け		単独/補助	単独	所属課	060101
総合計画の施策名	0503 道路網の整備				建設課
政策名	05 快適な暮らしのまちづくり			課長名	
施策名	03 道路網の整備			グループ	管理グループ
手段名	03 ③国道・県道の整備促進			担当者名	

財務会計上の位置付け							
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	08	01	01	02	00	土木総務事業
法令根拠	主要地方道石岡筑西線整備促進期成同盟会規約						

事業期間：単年度繰返し　（　平成元　年度～）
⇨ 期間限定の場合、総投入量を（３）投入量の右側に記入

【Do】　１．事務事業の現状把握（その１）

（１）事務事業の概要

手段

①事務事業の概要（事務事業の全体像）

県西地域の主要都市である筑西市と県南地域の主要都市である石岡市を結び、茨城空港さらには重要港湾鹿島港に至る県内主要地域間の連携強化を図る主要幹線道路である。このうち、水郷筑波国定公園内の上曽峠を含む石岡市上曽～桜川市真壁町山尾区間については、幅員狭小、線形不良かつ急勾配の山岳道路であることから、大型車の多くが迂回を余儀なくされ、冬季には交通止めとなる場合があり交通の難所となっている。この区間について、走行安全性が高く、環境への影響が少ないトンネルを含めたバイパスの整備を図るため、参画事業を行う。
地域相互間の交流促進及び沿線地域の振興に寄与することが期待される。
組織：石岡市、筑西市、桜川市、下妻市
事業延長：6.1㎞（うちトンネルL=3.5㎞）
＊県4.8㎞、石岡市0.5㎞、桜川市0.8㎞

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

事務局として、幹事会、総会、視察研修会を開催する。
また、負担金の請求徴収や道路整備促進期成同盟会全国協議会費の支払等の会計事務を行い決算監査を受ける。
令和元年10月、県がトンネル本体工事を発注。
工事期間は石岡工区　令和5年3月15日まで、桜川工区　令和4年9月30日まで。
・監査4/9,4/10
・幹事会（1回）4/24開催
・総会（1回）5/21開催
・大会への参加　5/16,10/29（2回）
・視察研修会（1回）2/17開催

（２）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）	03年度（目標）	04年度（目標）
・監査4/9,4/10 ・幹事会（1回）4/24開催 ・総会（1回）5/21開催 ・大会への参加　5/16,10/29（2回） ・視察研修会（1回）2/17開催 ・その他（通知文書発送、負担金、事務調整）	幹事会・総会回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	負担金額	千円	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）	03年度（目標）	04年度（目標）
主要地方道石岡筑西線	主要地方道石岡筑西線延長	㎞	36.63	36.63	36.63	36.63	36.63
	上曽トンネル整備事業延長（計画）	㎞	6.10	6.10	6.10	6.10	6.10
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）	03年度（目標）	04年度（目標）
主要地方道石岡筑西線の整備を行う	主要地方道石岡筑西線規格改良率	％	96.74	96.74	97.00	98.00	98.00
	上曽トンネル整備事業延長	㎞	0.00	5.58	5.58	5.58	5.58
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（３）　投入量（事業費）の推移

投入量		単位	30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）			期間限定総投入量
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			0
	県支出金	千円	0	0	0			0
	地方債	千円	0	0	0			0
	使用料・手数料	千円	0	0	0			0
	その他	千円	0	0	0			0
	一般財源	千円	25	25	25			0
事業費計（A）		千円	25	25	25			0
正規職員従事人数		人	5.00人	5.00人	5.00人			

事業費の内訳

01年度事業費 実績（千円）				02年度事業費 予算（千円）			
19 負担金補助及び交付金	25			19 負担金補助及び交付金	25		
		合　計	25			合　計	25

事務事業名	主要地方道石岡筑西線整備促進期成同盟会参画事業	事務事業№	50303000364	所属課	建設課

（4）この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？　開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

主要地方道石岡筑西線の改良整備について、早期実現を図ることを目的として事業開始（平成元年11月29日設立）
事業開始後、上曽峠のトンネル化が計画され、平成13年度より茨城県事業110億円（桜川市5億円、石岡市5億円）で取付道路等の整備を着手したが、用地取得の難航、公共事業を取り巻く厳しい環境の中、平成26年度にトンネル本体工事の早期着手に向け県知事等に要望し、新たな整備手法の提案を受けた。平成27年度は石岡市との勉強会を発足させ、新手法の可能性について勉強した。

（5）この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

住民・議会より仮称「上曽峠トンネル工事」に対し合併特例債を活用して早期着手を図ることを強く要望されている。

【See】　2．評価の部　　　＊原則は事前評価。

	評価項目	判定	内容
現状維持	①政策体系との整合性　（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	結びついている	財源確保などを目的とした県、国等への働きかけにより道路の整備促進を図ることとなり結びつく。
現状維持	② 公共関与の妥当性　（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	妥当である	関係市で組織する協議会なので参画することは妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地　（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	向上余地がない	今後も整備促進に結ぶ要望活動が必要であるが財政事情により向上の余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響　（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	影響有	整備促進の停滞になる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性　（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））（他に手段がある場合）⇒具体的な手段、事務事業名	余地がない	類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	削減余地がない	定期負担金により運営されている組織であり削減は難しい。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地　（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	公正・公平である	同盟会の参画事業であり受益者負担になじまない。

【Plan】　3．評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

（1）　1次評価者としての評価結果

①目的妥当性	■ 適切	□ 見直し余地あり
②有効性	■ 適切	□ 見直し余地あり
③効率性	■ 適切	□ 見直し余地あり
④公平性	■ 適切	□ 見直し余地あり

（2）　全体総括（振り返り、反省点）

上曽トンネル整備工事の進捗を目指し、参加自治体とともに国庫補助金等の財源確保や、合併市町村支援事業等の支援を県に働きかけた。

（3）　今後の事業の方向性

□ 終了　■ 継続 → □ 改革改善を行う → （複数回答可）
□ 目的の再設定　□ 効率性の改善
□ 有効性の改善　□ 公平性の改善
□ 統廃合ができる　□ 連携ができる
■ 継続 → ■ 現状維持
□ 廃止　□ 休止

（4）改革・改善による期待成果
（終了・廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト 削減	コスト 維持	コスト 増加
成果	向上			
成果	維持		○	×
成果	低下		×	×

（5）　改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

（6）事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	⑥

【Check】　4．確認及び改革改善に向けての指摘事項

（1）　課長評価

課長確認後の評価

評価		
A	A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う）	C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出

（2）　部長確認及び評価　（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）

確認欄